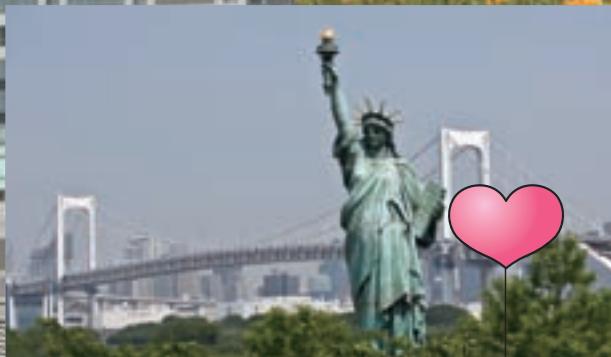
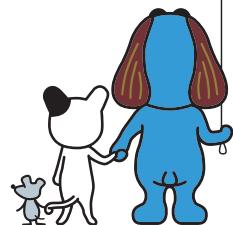


Fuji TV Report



株主の皆様へ 第67期 報告書 平成19年4月1日から平成20年3月31日まで





Top Message

ごあいさつ

代表取締役会長
(Chairman & CEO)

日枝 久

代表取締役社長
(President & COO)

豊田 皓

フジテレビからフジ・メディア・ホールディングスへ

株主の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社は、すでにお知らせの通り、本年10月1日付(予定)をもって、認定放送持株会社体制に移行することといたしました。当社が、本年4月の放送法改正によって制度化された認定放送持株会社に移行し「株式会社フジ・メディア・ホールディングス」と商号変更するとともに、新設分割により、当社の完全子会社として「株式会社フジテレビジョン」を設立し、グループ経営管理事業を除く一切の事業に関する権利義務を承継させる計画です。今後、主務大臣による認定等の法令上必要とされる手続きを経て、当社は認定放送持株会社に移行することとなります。

当社は従来から、テレビ放送事業を中核とし、放送周辺の事業展開についても他社に先んじて積極的に取り組み、グループ事業領域の拡大に努めてまいりました。その複合的な事業展開には高い評価をいただいております。平成18年4月に当社を事業持株会社とする連結経営体制に移行した後も、高い競争力を持つメディアグループとしての発展を企図し、グループ内経営資源の選択と集中を機動的に実行しております。放送をはじめとするメディア産業を取り巻く環境が、デジタル化に伴う技術革新、規制緩和、法制度の改正等により、さらに大きな変革期

を迎えている今日、それらの事業環境の変化にも対応し、国内外から高く評価される我が国を代表する「メディア・コングロマリット」を目指すという長期的なグループ経営ビジョンを達成するためには、経営の意思決定の迅速性と、事業執行の機動性がこれまで以上に要請され、併せて適正なグループガバナンスを実行する必要があると考えます。それらを実現するための経営組織の形態として、認定放送持株会社体制が最適であると判断するに至りました。

来年開局50周年を迎える当社は、今回の認定放送持株会社体制への移行をメディアグループとしての「第二の創業期」として捉え、新たなグループ経営体制構築のまさにスタート台に立つこととなります。その認識のもと、グループを牽引する、日本最大の「デジタル・コンテンツ・ファクトリー」であるフジテレビのコンテンツ創造力をさらに強化し、長期的なグループ経営ビジョンを目指して「グループ経営の強化」、「事業環境に応じた資源再配分の適正化」、「事業再編への積極的取り組み」に注力し、グループ全体の企業価値の向上を図り、株主の皆様のご期待に応えるべく努めてまいる所存です。

株主の皆様には、一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成20年6月

Contents

ごあいさつ・1

トップが語るフジテレビ・3

フジテレビアウトライン・7

CSR通信 Vol.3・11

連結財務諸表・13

個別財務諸表・16

グループ・ネットワーク・17

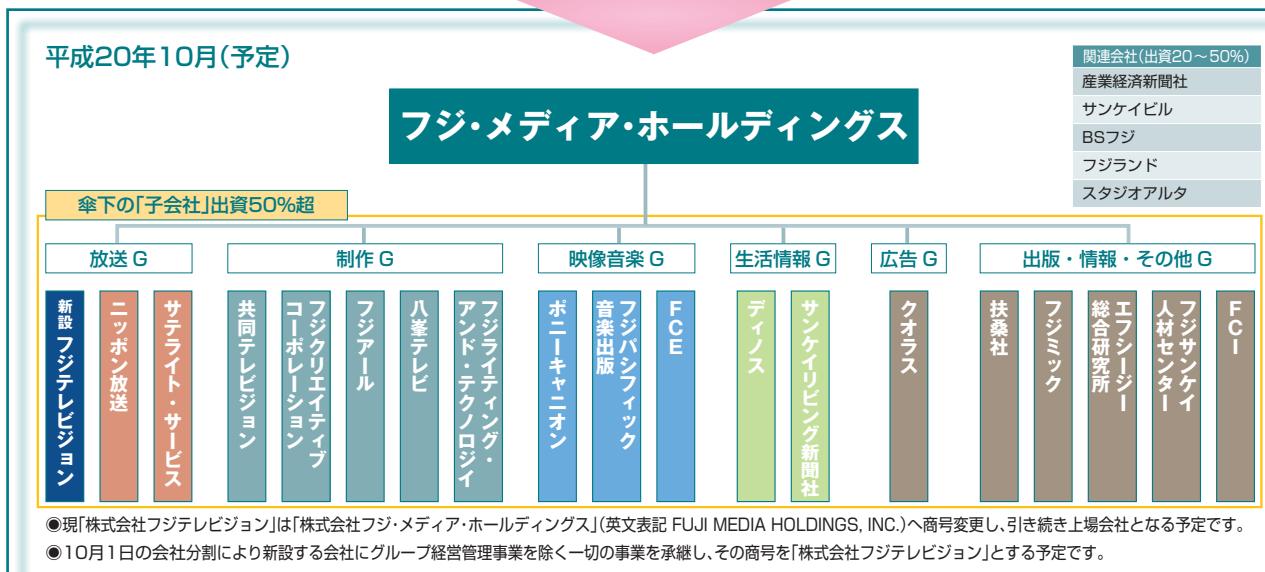
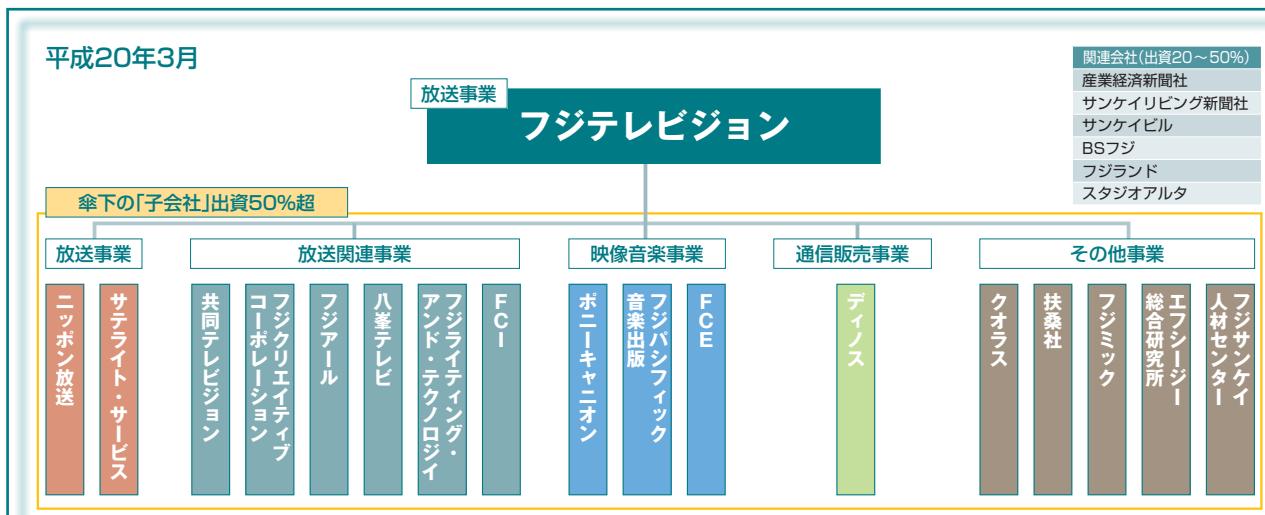
グループ紹介(フジクリエイティブコーポレーション)・18

会社概況・19

株式情報・20

株主メモ・21

□グループ組織概略図



FCI : Fujisankei Communications International, Inc.

FCE : Fujisankei California Entertainment, Inc.

(注1) サテライト・サービスについては、実質支配力基準に基づき子会社として表示しております。

(注2) 認定放送持株会社体制移行後のグループ組織概略図における各子会社の属するグループは、有価証券報告書等における事業の種類別セグメントを示すものではありません。

Top Interview

トップが語るフジテレビ

代表取締役社長 豊田 皓



フジテレビの当期の業況について聞かせてください。

当期の日本経済は、当初、企業収益の向上により景気回復基調にありましたが、夏以降米国経済の減速を機に円高の進行や原油など原材料費高騰による企業収益への圧迫懸念から経済・景気動向の先行き不透明感が強まりました。

これに伴い、国内の個人消費マインドが伸び悩み、広告市場の好転には至りませんでした。

このように、放送事業を主業とする当社にとっては大変厳しい環境にあって、当期の連結売上高は、放送事業、放送関連事業で増収となりましたが、通信販売事業、映像音楽事業が伸び悩み、前期比1.2%減収の5,754億84百万円となりました。営業利益につきましては、主として放送

| | 売上高 | | | 営業利益または営業損失(△) | | |
|--------|------------------|------------------|-------|------------------|------------------|--------|
| | 前連結会計年度 (百万円) | 当連結会計年度 (百万円) | 増減(%) | 前連結会計年度 (百万円) | 当連結会計年度 (百万円) | 増減(%) |
| 放送事業 | 402,789 | 406,125 | 0.8 | 36,205 | 22,765 | △ 37.1 |
| 放送関連事業 | 52,494 | 54,342 | 3.5 | 3,702 | 2,659 | △ 28.2 |
| 通信販売事業 | 67,321 | 63,254 | △ 6.0 | △ 1,664 | △ 2,455 | — |
| 映像音楽事業 | 74,330 | 68,899 | △ 7.3 | 3,561 | 1,375 | △ 61.4 |
| その他事業 | 59,116 | 59,129 | 0.0 | 729 | △ 37 | — |
| 消去又は全社 | (73,392) | (76,267) | — | (208) | 65 | — |
| 合計 | 582,660 | 575,484 | △ 1.2 | 42,325 | 24,372 | △ 42.4 |

収入の減収による減益と、通信販売事業、映像音楽事業の主要子会社の業績が回復に至らなかったことなどにより、放送事業をはじめ各セグメントで前期を下回り、前期比42.4%減益の243億72百万円、経常利益も前期比41.2%減益の270億56百万円となりました。当期純利益は、特別利益に投資有価証券売却益や出資金売却益を計上しましたが、特別損失に投資有価証券評価損を計上したことなどから、前期比36.5%減益の157億70百万円となりました。

通信販売事業の(株)ディノスは、カタログ通販部門が堅調に推移し増収となりましたが、テレビ通販部門は回復に至らず減収となり、通期の赤字幅が拡大しました。

映像音楽事業の(株)ポニーキャニオンは、音楽部門、映像部門ともに前期に比べ業績を牽引する作品がなく、減収減益となりました。

業績が思わしくない主要子会社に対して、課題である商品開発・調達力の強化、販売力の強化、コスト管理の徹底について、具体的施策の実施に順次着手していますが、当期決算においては満足できる結果を出すには至りませんでした。

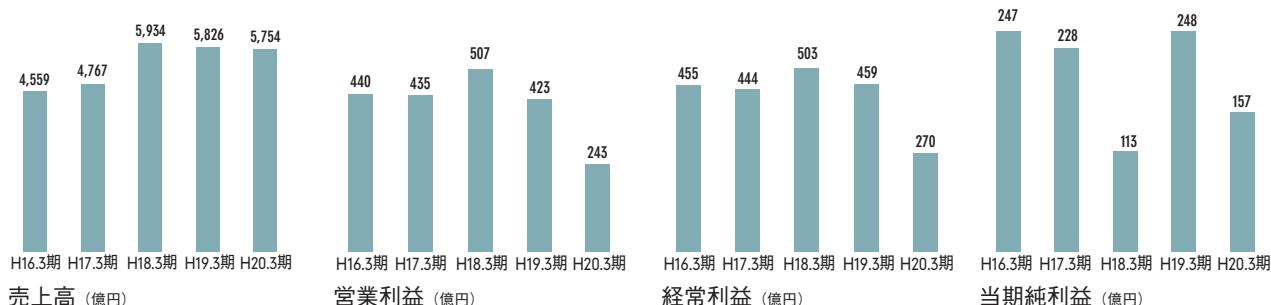


フジテレビ単体の業況を詳しく教えてください。

昨年9月には、コンテンツ制作力を強化する重点施策として台場本社ビル近隣に新設した「湾岸スタジオ」が本稼働を開始し、ドラマ・バラエティ番組制作における創造性や作業効率の向上について期待通りの成果を挙げ、おかげさまで、当期も番組視聴率年度四冠王を達成することができました。レギュラーバラエティ番組が通期にわたり好調で、プライムタイムの視聴率に貢献し、ドラマ、そしてニュース、情報、スポーツなどすべてのジャンルにわたって視聴者の皆様の支持をいただくことができました。

一方、業績面は、当社売上の中でも比重の高い放送収入が、広告市況の低迷により減収となりました。ネットタイムセールスはレギュラー番組のセールスが堅調に推移したことなどにより増収となりましたが、ローカルタイムセールス、スポットセールスは減収となりました。スポットセールスにつきましては、第2四半期で市況回

Financial Highlights 連結財務ハイライト



復の兆しもありましたが、第3四半期、第4四半期ともに前年同期の水準を割り込み、通期でも前期実績に届きませんでした。

放送収入が減収となる一方で、非広告・その他事業は大変好調に推移し、当期の業績を支えました。映画事業では「HERO」「西遊記」をはじめとする作品が配給収入・ビデオDVD販売ともに好調で当期の収益に大きく貢献しました。イベント事業では「ドラリオン」全国公演が各地で好評の大入りとなり興行・物販ともに成果をあげました。また、ビデオDVD販売事業では、これまで同部門の売上を牽引していた「DRAGON BALL」シリーズに加え、ドラマ・バラエティ番組の話題作が数多く販売され大変好調なセールスを記録しました。

このように、当期の単体業績は非広告・その他事業の好調により増収となりましたが、収益面では広告収入の減収、とりわけスポット収入の落込みをカバーするには至らず減益となりました。しかしながら、第3四半期以降につきましては、広告市況の悪化による放送収入の減収傾向が継続するなか、番組制作費や一般管理費など営業費用の削減に注力いたしました結果、特に第4四半期においてその成果を挙げ、営業利益を押し上げることができました。

当中間期以降、特に注力した点は何でしょうか？

下期においては、かねてからの取組み課題である、費用の効率的運用を徹底して推し進めました。番組制作費や一般管理費をはじめ、あらゆるコスト運用の見直しによる圧縮を行い、収益体質の改善を図りました。とりわ

け、番組制作費については、制作現場にとって期中の費用削減という大変難しい課題でしたが、全社で取り組んだことにより、第4四半期（3ヶ月）においては前年同期比で大幅に削減いたしました。

今期（2009年3月期）の業績見通しについてお聞かせください。

今期の業績は、連結売上高5,791億円、営業利益287億円の増収増益を見込んでいます。また、放送事業のフジテレビ単体としては通期売上高3,590億円、通期営業利益243億円の減収増益を見込んでいます。なお、このフジテレビ単体の業績見通しは認定放送持株会社体制への移行を考慮せず、現在の組織を前提としたものです。

この業績予想の前提につきましては、放送事業フジテレビの放送収入、特にスポットセールスについて前期に引き続き大変厳しい状況を想定しています。オリンピックをきっかけとした広告市況の活性化に期待していますが、前年度下期からの市況の推移や昨今の景気動向を見ても、放送収入が前期実績を上回することは容易ではないと考えられます。

また、フジテレビ単体の非広告・その他事業におきましても、前期には通期での公演開催による収入・利益への貢献が大きかったイベント「ドラリオン」などの反動による収入減が予想されますが、引き続き各事業の収益維持・向上を図ってまいります。

映画事業では「ザ・マジックアワー」、秋にはドラマ「ガリレオ」の映画化である「容疑者Xの献身」をはじめ、話題作の公開を予定しており、大いに期待しています。ビデオDVD事業では前期に引き続き、ドラマ・バラエティの人

気作品の発売を控えており、収益が堅調に推移するものと見込んでいます。イベント事業はシルク・ドゥ・ソレイユの次回期待作「コルテオ」の全国公演が来年2月からのスタートを予定しており、今期の売上は減少しますが、大型イベントの抜本的な収支改善を行うほか、個別案件ごとの収益性を高め、イベント事業の収益水準は維持してまいりたいと考えます。

このように、今期、フジテレビ単体では放送収入、非広告・その他事業収入とも減収基調にありますが、前年度下期に引続き収益の確保を前提とした営業費用の効率的運用を徹底し、増益達成のために最大の経営努力を行います。あわせて、社内配置転換による番組制作部門の人員増強等を順次実施しており、メインエンジンであるコンテンツ制作力をさらに強化し、最強のデジタル・コンテンツ・ファクトリーとしての地位をさらに磐石なものにしていく所存です。

主要連結子会社の今期業績見通しは いかがでしょうか？

通信販売事業の㈱ディノスは、今期黒字化を見込んでいます。従前からの課題であるコスト削減につきましては、昨年末のCS専門チャンネル撤退による費用削減効果などにより販管費の大幅減を見込んでいます。また、フジテレビでの番組連動を強化するなど、テレビ通販部門の挺入れを行います。

映像音楽事業の㈱ポニーキャニオンは、今期に入り、フジテレビの人気バラエティ番組から生まれたユニット「羞恥心」の楽曲が大ヒットしており、まさに絶好調のスタートを切りました。映像部門では、前期に引続きフジ

テレビ話題作のDVD販売も堅調推移が見込まれ、また、コストの効率運用、削減により収益は向上する見込みです。

なお、連結その他事業には、昨年10月に発足した広告会社(株)クオラスの合併統合による増収分に加え、今般完全子会社化した(株)サンケイリビング新聞社の売上予想を計上しています。それらにより、同事業は280億円増収となる見込みであり、連結売上はわずかながら増収を見込んでいます。

認定放送持株会社体制へ 移行した後のフジテレビの役割は？

新しい体制においても、メディア・コングロマリットの中核となりグループ全体を牽引していくのが地上波テレビ放送事業を行うフジテレビであることはいうまでもありません。我が国最強の「デジタル・コンテンツ・ファクトリー」であるフジテレビのコンテンツ制作力はグループ全体の成長を促すエネルギーの源であり、メディア環境のみならず当社グループを取り巻くあらゆる事業環境の変化にも対応しうるコンテンツ制作力のさらなる強化と、そのコンテンツから生まれる価値の向上・最大化を引続き図ってまいります。

Fuji TV Outline

フジテレビアウトライン

平成19年度は引続き、高い視聴率を維持することができました。ゴールデン(19時~22時)、プライム(19時~23時)、全日(6~24時)、ノンプライム(6時~19時および23時~24時)の時間帯で、いずれも関東地区においてトップの視聴率を獲得し、4期連続の四冠王となりました。

平成19年度も世界基準のソフトに挑戦し続けました。「世界フィギュア2008」24.3%、「四大陸フィギュア」21.7%、そして「W杯バレー」では22本のゴールデンタイム中継を行い、最高20.9%の視聴率を獲得。さらに「世界柔道」「F1 GP」「K1 GP」、そして話題性豊富な海外サッカーなど、世界最高レベルのスポーツソフトを数多くお伝えしました。また「2007全日本フィギュア」でも25.5%の高視聴率を獲得、看板レギュラー番組の「ジャンクSPORTS」「すぽると!」も好調に推移し、1年を通じて様々な角度からスポーツの魅力をお伝えしました。

Sports スポーツ



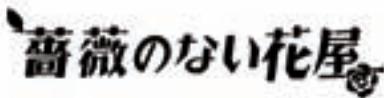
2007全日本フィギュア

Broadcasting

放送事業 & 放送関連事業

TV Program テレビ番組

薔薇のない花屋



連続ドラマでは、月曜21時の「月9」枠で「プロポーズ大作戦」「ガリレオ」「薔薇のない花屋」が大ヒットしたのをはじめ、火曜21時「花ざかりの君たちへ〜イケメン♂パラダイス〜」、木曜22時「医龍 Team Medical Dragon 2」など、ヒット作を次々と生み出しました。さらに、土曜23時台に新設された連続ドラマ枠では、「라이어ゲーム」「ライフ」「SP」が斬新な企画で若者を中心に圧倒的な支持を受け、大いに注目を集めました。

単発ドラマも、二夜連続の「千の風になって」ドラマスペシャル「はだしのゲン」や「のだめカンタービレ in ヨーロッパ」が高視聴率を記録するなど、フジテレビのドラマ制作力は、ますます他を圧倒しています。

Drama ドラマ

Variety バラエティ

「ネプリーグ」「はねるのトびら」「クイズ!ヘキサゴンII」が依然パワーを爆発させる中、「HEY!HEY!HEY!」「SMAP×SMAP」「ザ・ベストハウス123」「とんねるずのみなさんのおかげでした」「めっちゃイケてるっ!」「メントレG」とゴールデン・プライムタイムは堅調。23時台では「あいのり」「タモリのジャポニカログス」「VVV6」「僕らの音楽」「新堂本兄弟」と他局を圧倒、お昼は「笑っていいとも!」「ライオンのごきげんよう」が視聴者の皆様に愛され続けており、さらに恒例の「FNS歌謡祭」は20.7%を記録、「MUSIC FAIR21」も2200回を数えるなど音楽番組も元気です。

ミュージックフェア21(2200回記念)



Life Information 情報

日々のニュースを多角的視点から検証し、分かりやすく伝える朝の情報番組「とくダネ!」は引き続き好調でお茶の間の強い支持を獲得、月間平均視聴率は86ヶ月連続1位をキープする快挙を成し遂げました。「日本の朝の顔」[めざましテレビ]も好視聴率をキープ、若者のトレンドを牽引し、学校や職場で話題的となっています。また「たけしの日本教育白書」は5時間という異例の大型生放送で15.0%の高視聴率を達成、大きな反響を呼びました。特番でも「死ぬんじゃない!!～実録ドラマ・宮本警部が遺したもの～」(17.6%)、「サイエンスミステリー それは運命か奇跡か!?第6弾」(16.4%)など独自の取材に基づいた意欲的な番組を送り出し、多くの視聴者に支持されています。



とくダネ!

News 報道

「FNNスーパーニュース」は夕方のニュース激戦区で6年連続の視聴率トップを達成しました。また日曜夜の「新報道プレミアA」は、これまでの報道番組にはないキャスティングと企画で注目を集めました。このほか「ニュースJAPAN」「報道2001」等のレギュラー番組も質の高い内容で視聴者の支持を得ています。取材部門では、ミャンマーの日本人記者殺害映像、金正男氏単独直撃等、社会性の高い映像スクープを連発し、国内外から高い評価を得ました。参院選特別番組では、極めて精度の高い議席予測を伝え、視聴率も民放トップを獲得しました。このほか、大型の特別番組としては「プリンセスダイアナ最後の瞬間」、「大韓航空機爆破事件20年目の真実」が、長期取材に基づく深みのある内容で、反響を呼びました。



FNNスーパーニュース

CS CS放送

CS放送フジテレビ721+739は、人気オリジナル番組「ゲームセンターCX」が、昨年のクリスマスライブに、『カイの冒険』を見事クリアするまでを9時間生放送し大きな反響を呼びました。さらに、番組のDVD-BOXの売上も20万セットを突破しました。また、「F1 GP」の土日オールセッション全戦生中継、東京ヤクルトスワローズ主催全試合生中継しました。音楽では、史上最大規模のライブイベント「ライブ・アース」を22時間世界同時衛星生中継とニーズに合わせた編成でお届けしました。このほか、初のオリジナルドラマや「人志松本のすべらない話」のスピノフ企画も次々登場し話題となりました。



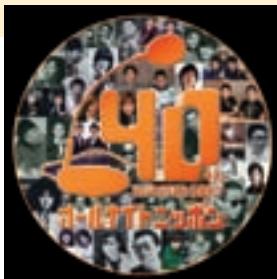
ゲームセンターCX



| | 番組名 | 放送日 | 曜日 | 放送開始 | 放送分数 | 視聴率(%) |
|---------|---|------------|----|-------|------|--------|
| レギュラー番組 | 1 ガリレオ | 2007/10/15 | 月 | 21:00 | 69 | 24.7 |
| | 2 はねるのトビら | 2008/1/23 | 水 | 19:57 | 57 | 24.1 |
| | 3 土曜プレミアム・踊る大捜査線THE MOVIE2レインボーブリッジを封鎖せよ! | 2007/10/13 | 土 | 21:00 | 175 | 23.6 |
| | 4 SMAP×SMAP07春の超豪華スペシャル! | 2007/4/2 | 月 | 21:30 | 114 | 23.4 |
| | 5 とんねるずのみなさんのおかげでした | 2007/5/31 | 木 | 21:00 | 54 | 22.7 |
| 特別番組 | 1 2008名古屋国際女子マラソン | 2008/3/9 | 日 | 12:00 | 175 | 25.7 |
| | 2 2007全日本フィギュアスケート選手権・女子シングルフリー | 2007/12/28 | 金 | 19:00 | 129 | 25.5 |
| | 3 世界フィギュアスケート選手権2008・女子フリー | 2008/3/21 | 金 | 19:04 | 125 | 24.3 |
| | 4 ドラマレジェンドスペシャル・HERO | 2007/9/23 | 日 | 21:00 | 149 | 22.1 |
| | 5 タモリの雑学の祭典! タモリのジャポニカロゴスおもしろ漢字横綱決定戦! | 2007/5/12 | 土 | 19:00 | 114 | 21.3 |

Radio ラジオ

平成 19 年度も(株)ニッポン放送は、ナイター中継「ショウアップナイター」をはじめ各番組がリスナーの支持を得ました。デジタル放送では、日本初のラブソング専門ステーション「スオーノ・ドルチェ」がスタートしました。さらに、11月10日～11日には、2回目となる「ニッポン放送番組祭り THE ラジオパーク 2007in 日比谷」を日比谷公園で開催しました。また、2月23日～24日には、「オールナイトニッポン 40 時間スペシャル」を放送し、ビートたけし、タモリ、吉田拓郎等人気パーソナリティが復活しました。その他、「全国ナイスミドル音楽祭」、「中国障害者芸術団 千手観音」等、新しいイベントを実施し、大成功をおさめました。

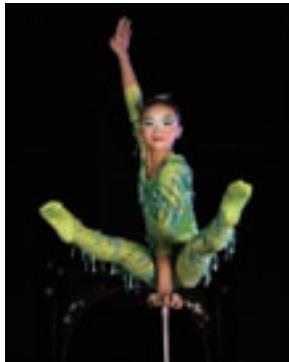


「オールナイトニッポン 40 時間スペシャル」

Event イベント

2度の東京公演と仙台・大阪・名古屋・福岡と回った「ドラリオン」は各地で好評を博し、興行的にも大成功をおさめました。テレビのメインキャストをそのままに舞台化した「大興2007」は、多数のリピーターを生む盛況ぶりで、ドラマとのコラボレーションの成功例となりました。また、日本各地の伝統ある劇場で“古典落語”を大胆かつ斬新な演出で見せた「鶴瓶のらくだ」、オペラ専門誌で年間第1位に選ばれた「チューリッヒ歌劇場」の初来日公演等文化面で社会に寄与できました。5年目を迎えた「ザ・冒険王2007」は過去最高水準の動員となりました。

Photo: Ryuichi Oshimoto
Costume: François Barbeau
© 2007 Cirque du Soleil Inc.



「ドラリオン」

Movie 映画

平成 19 年度の本邦制作映画は 10 作品で、全作品の興行収入合計は約 214 億円に達し、国内邦画興行収入の 23% 程度のシェアを占めました。昨年 9 月公開の「HERO」は興行収入 81.5 億円を記録し平成 19 年の興行収入・動員で邦画ナンバーワン作品となりました。また 7 月公開の「西遊記」は 47.3 億円、4 月公開の「ゲゲゲの鬼太郎」は 23.4 億円と記録的なヒット作品となりました。平成 19 年 1 月公開の「それでもボクはやってない」は、映画賞を多数受賞し高い評価を受けました。

©フジテレビジョン・東宝・j-dream・FNS 27 社



「HERO」

Rights Business ライツビジネス

映像ソフト事業は売上130億円を突破し新記録を更新。シリーズ合計180万本超の「人志松本のすべらない話」をはじめ、「ドリフの大爆笑」「リチャードホール」「のだめカンタービレ」「花ざかりの君たちへ」「DRAGON BALL」などあらゆるジャンルが好調で、「朱蒙（チュモン）」など海外作品の戦略的リリースにも成功しました。

番組等関連商品では、映画「西遊記」「HERO」グッズ、「冒険王」での「めっちゃイケてるッ!」「はねるのトビら」等のグッズ&飲食販売、「W杯バレー」でのグッズ展開、「ネプリーグ」「IQ サプリ」「平成教育学院」等の任天堂DS&Wiiゲーム化など、番組視聴率の好調に支えられ良好な実績をあげました。



「朱蒙（チュモン）」

Direct Marketing

通信販売事業



「ダーマ」「ルール」

(株)ディノスのインターネット事業は前期比で116%と引続き好調に推移しました。特に、メルマガ経由、レコメンド、お気に入り、評価コメントなどのWEB独自の機能を使ったセールスプロモーションからの売上の伸びが顕著な1年でした。ファッション事業も、カタログのターゲット戦略が成功して109%の高い伸びを記録し、100億円の大台に乗せることができました。主力のカタログ事業では、Lサイズカタログ「サイズリッシュ」、美容健康カタログ「d-BEAUTY」等の新しい切り口のカatalogを、積極的に投入していく予定です。

Other

その他事業

(株)扶桑社では、フジテレビで毎週水曜夜に放送している「クイズ!ヘキサゴンII」の予選テスト問題を出版化した「ヘキサゴンドリル」(12月刊)が短時間で急速に売れ行きを伸ばし、累計発行部数35万部に達しています。また、扶桑社新書シリーズも2月に創刊1周年を迎え、各書店での新書フェアを大きく展開しました。今後もフジテレビとの連動をさらに強化しながら、意欲的な出版物の刊行に努めてまいります。



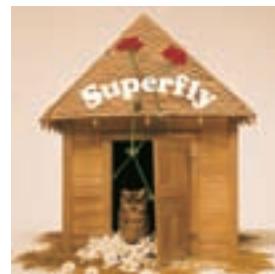
「ヘキサゴンドリル」

Video & Music

映像音楽事業



KREVA「KREVA BEST」



Superfly「ハロー・ハロー」

(株)ポニーキャニオンは、音楽部門では、KREVAのベストアルバム「KREVA BEST」、映像部門では、「朱蒙(チュモン)」や映画「アンフェア the movie」、ドラマ「花ざかりの君たちへ〜イケメン♂パラダイス〜」が好調でした。

(株)フジパシフィック音楽出版では、CDとあわせて配信でも着うたダウンロード歴代2位を記録し大ヒットとなったコブクロ「蕾」(月9ドラマ「東京タワー」主題歌)、桑田佳祐5年ぶりのソロ活動第1弾シングル「明日晴れるかな」(月9ドラマ「プロポーズ大作戦」主題歌)などの管理楽曲が当期売上を牽引いたしました。

また、今後の活躍が期待される新人アーティストのSuperflyがデビュー、「ハロー・ハロー」などリリースしたシングル曲は全てスマッシュ・ヒットを記録しました。



まじめ、はじめました。

“フジテレビだからできるCSR活動”を目指して

2006年6月に、在京テレビ局としては初のCSR推進室を新設して、丸2年が経ちます。放送事業者として、公共的使命・社会的責任を認識し、視聴者の信頼に応える質の高いコンテンツを社会に提供するだけでなく、環境活動や社会貢献活動の社内横断プロジェクトを作り情報を共有しながら、CSR活動を推進しています。

昨年夏には、フジテレビのCSR活動を様々な場面で支えるアナウンサー集団『エコアナ』を結成しました。現在、子供たちに向けた社会貢献活動をはじめ、環境をテーマにした番組取材や講演会への参加など、『エコアナ』活動を積極的に展開しています。

●エコアナ、現在15名で活動中！

10名でスタートした「エコアナ」ですが、CSR活動に関心の高いアナウンサーたちの自発的な参加により、現在15名となりました。

CSRホームページでは、「エコアナ」たちが取材などで得た知識や体験をコラムとして執筆しており、注目を集めています。



牧原 俊幸



笠井 信輔



益田 由美



松尾 紀子



木幡 美子



田代 尚子



佐々木 恭子



藤村 さおり



島田 彩夏



梅津 弥英子



石本 沙織



戸部 洋子



松尾 翠



大島 由香里



生野 陽子

●CSRオフィシャルサイト、随時更新中

フジテレビのCSR活動をお知らせするホームページです。番組でのCSR活動を報告するほか、フジテレビの環境問題への取り組みや、社会貢献活動などを担当者自身が執筆し、毎月数回更新しています。



www.fujitv.co.jp/csr/

●「環境問題社内勉強会」を継続的に開催！

社員・スタッフの環境問題への啓発を目的とした勉強会を開催しています。メディア企業として、また、企業市民として環境問題へ積極的に取り組むための基礎学習の場となっています。



2008年度 第35回FNSチャリティキャンペーン 支援国 「南アメリカ ガイアナ共和国」



南アメリカ北部に位置するガイアナ共和国は、人口76万人の大西洋に面した国で、孤児がおよそ3万3,000人おり、そのうち7,000人はエイズが原因で孤児となった子供たちです。また、この国でエイズは、5歳未満児の主要な死因となっています。

現在、世界的にはHIV感染率は横ばいの状況ですが、一方で若年層や女性の間では増加傾向にあり、治療をはじめHIV/エイズの対策において長期的な課題がまだまだ多く残されています。

FNSチャリティキャンペーンでは、ドキュメンタリー番組や講演会を通じて今年の支援国である『ガイアナ共和国』の子どもたちの暮らしぶりを伝えることで、世界で厳しい状況に置かれている子どもたちの現状を皆様にご理解いただきたいと考えております。



FNSチャリティキャンペーン

1974年9月設立、フジテレビを含め全国の系列局28局で構成。2007年度までの支援国および地域は24カ国3地域、緊急援助は14カ国にのぼり、支援総額は34億9,200万円になりました。35年目の2008年度からはメインテーマを『世界の恵まれない子どもの笑顔のために』とし、アジア・アフリカを含めた世界の子どもたちの支援を目指します。



佐々木恭子アナウンサーによる現地取材報告会

全国のフジテレビ系列局を中心として、2006年度から佐々木恭子アナウンサーによる現地取材報告会をスタート、2年間に1都14県で開催し、入場者総数はおおよそ3,800人に達しました。

報告会では、佐々木恭子アナウンサーが現地取材で実際に体験したことを報告するとともに、協力していただいている『ぶれいす東京』に寄せられたHIVポジティブの患者の手記を紹介するなど、日本のHIV/エイズの実情もお伝えしております。この報告会は、2008年度以降も続けていく予定です。

連結財務諸表

連結貸借対照表 (単位：百万円)

| | 当連結 会計年度 平成20年3月31日現在 | 前連結 会計年度 平成19年3月31日現在 |
|----------|-----------------------------|-----------------------------|
| 資産の部 | | |
| ① 流動資産 | 253,577 | 283,029 |
| ② 固定資産 | 423,423 | 448,467 |
| 有形固定資産 | 181,146 | 179,893 |
| 無形固定資産 | 47,929 | 53,881 |
| 投資その他の資産 | 194,347 | 214,691 |
| 資産合計 | 677,000 | 731,496 |

POINT

① 流動資産

有価証券が減少したことなどにより、前期末比294億51百万円の減少となりました。

② 固定資産

連結子会社の売却による除外などにより無形固定資産が減少したことや、投資有価証券の時価評価差益が減少し投資その他の資産が減少したことなどにより前期末比250億44百万円の減少となりました。

③ 流動負債

未払法人税等の減少や未払金の減少などにより、前期末比351億20百万円の減少となりました。

④ 固定負債

投資有価証券の時価評価差益の減少に伴う繰延税金負債の減少などにより、前期末比58億66百万円の減少となりました。

| | 当連結 会計年度 平成20年3月31日現在 | 前連結 会計年度 平成19年3月31日現在 |
|--------------|-----------------------------|-----------------------------|
| 負債の部 | | |
| ③ 流動負債 | 115,425 | 150,545 |
| ④ 固定負債 | 105,497 | 111,364 |
| 負債合計 | 220,922 | 261,909 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | 450,682 | 445,723 |
| 資本金 | 146,200 | 146,200 |
| 資本剰余金 | 173,664 | 173,664 |
| 利益剰余金 | 146,322 | 141,364 |
| 自己株式 | △ 15,505 | △ 15,505 |
| 評価・換算差額等 | 649 | 17,217 |
| その他有価証券評価差額金 | 1,416 | 17,448 |
| 土地再評価差額金 | △ 463 | △ 454 |
| 為替換算調整勘定 | △ 302 | 223 |
| 少数株主持分 | 4,745 | 6,645 |
| 純資産合計 | 456,077 | 469,586 |
| 負債・純資産合計 | 677,000 | 731,496 |

連結損益計算書 (単位: 百万円)

| | 当 連 結 会 計 年 度 平成19年4月1日から 平成20年3月31日まで | 前 連 結 会 計 年 度 平成18年4月1日から 平成19年3月31日まで |
|--------------|---|---|
| 5 売上高 | 575,484 | 582,660 |
| 売上原価 | 390,778 | 379,444 |
| 売上総利益 | 184,706 | 203,215 |
| 販売費及び一般管理費 | 160,333 | 160,889 |
| 6 営業利益 | 24,372 | 42,325 |
| 営業外収益 | 6,923 | 7,473 |
| 営業外費用 | 4,239 | 3,803 |
| 7 経常利益 | 27,056 | 45,995 |
| 特別利益 | 8,901 | 230 |
| 特別損失 | 6,431 | 803 |
| 税金等調整前当期純利益 | 29,526 | 45,422 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 11,591 | 20,858 |
| 法人税等調整額 | 1,860 | △ 1,036 |
| 少数株主利益 | 303 | 753 |
| 8 当期純利益 | 15,770 | 24,846 |

POINT

5 売上高

放送事業におけるスポット収入の減収に加え、通信販売事業、映像音楽事業も伸び悩み前期比 1.2% の減収となりました。

6 営業利益

放送事業が放送収入の減収と減価償却費の増加などで減益となったのをはじめ、各セグメントで前期を下回り、前期比 42.4% の減益となりました。

7 経常利益

営業利益の減益に、持分法による投資利益の減少などが加わり前期比 41.2% の減益となりました。

8 当期純利益

特別利益に投資有価証券売却益や出資金売却益を計上しましたが、特別損失に投資有価証券評価損を計上したことなどを反映して、前期比 36.5% の減益となりました。

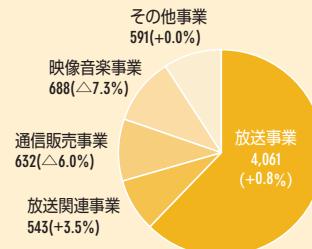
総資産 (億円)



純資産 (億円)

セグメント別売上高 (億円)

※ () は前期比



連結財務諸表

Consolidated Financial Statements

連結キャッシュ・フロー計算書 (単位：百万円)

| | 当連結会計年度 平成19年4月1日から 平成20年3月31日まで | 前連結会計年度 平成18年4月1日から 平成19年3月31日まで |
|----------------------|--|--|
| ⑨ 営業活動によるキャッシュ・フロー | 25,383 | 60,718 |
| ⑩ 投資活動によるキャッシュ・フロー | △ 41,488 | △ 18,206 |
| ⑪ 財務活動によるキャッシュ・フロー | △ 9,367 | △ 9,013 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △ 116 | 18 |
| 現金及び現金同等物の増減額 | △ 25,588 | 33,517 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 104,324 | 71,163 |
| 合併に伴う現金及び現金同等物の増加額 | 1,435 | — |
| 連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額 | — | △ 356 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 80,171 | 104,324 |

POINT

⑨ 営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前当期純利益が減少したことや、法人税等の支払額が増加したことなどで、前期比 353 億 34 百万円減少しました。

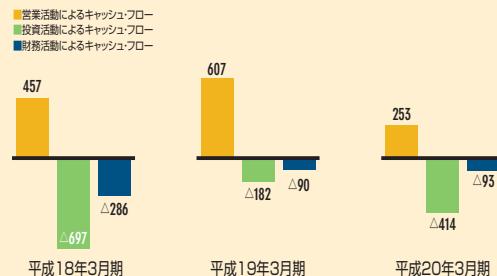
⑩ 投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得による支出が増加したことなどで、前期比 232 億 81 百万円の支出増加となりました。

⑪ 財務活動によるキャッシュ・フロー

配当金の支払額が増加したことなどで、前期比 3 億 54 百万円の支出増加となりました。

キャッシュ・フロー (億円)



連結株主資本等変動計算書 (単位：百万円)

| 当連結会計年度 平成19年4月1日から平成20年3月31日まで | 株主資本 | | | | | 評価・換算差額等 | | | | 少数株主持分 | 純資産合計 |
|------------------------------------|---------|---------|---------|---------|---------|--------------|----------|----------|------------|--------|---------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 | その他有価証券評価差額金 | 土地再評価差額金 | 為替換算調整勘定 | 評価・換算差額等合計 | | |
| 平成19年3月31日残高 | 146,200 | 173,664 | 141,364 | △15,505 | 445,723 | 17,448 | △454 | 223 | 17,217 | 6,645 | 469,586 |
| 連結会計年度中の変動額 | | | | | | | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | △11,054 | | △11,054 | | | | | | △11,054 |
| 当期純利益 | | | 15,770 | | 15,770 | | | | | | 15,770 |
| 土地再評価差額金取崩高 | | | 8 | | 8 | | | | | | 8 |
| 合併による増加高 | | | 366 | | 366 | | | | | | 366 |
| 持分法適用会社除外による減少 | | | △132 | | △132 | | | | | | △132 |
| 株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動額(純額) | | | | | | △16,032 | △8 | △526 | △16,568 | △1,899 | △18,467 |
| 連結会計年度中の変動額合計 | — | — | 4,958 | — | 4,958 | △16,032 | △8 | △526 | △16,568 | △1,899 | △13,508 |
| 平成20年3月31日残高 | 146,200 | 173,664 | 146,322 | △15,505 | 450,682 | 1,416 | △463 | △302 | 649 | 4,745 | 456,077 |

個別財務諸表

Non-Consolidated Financial Statements

貸借対照表 (単位：百万円)

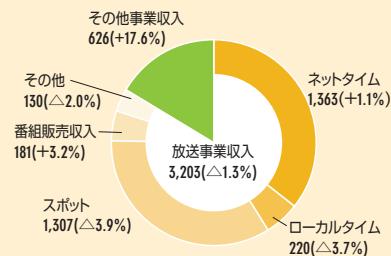
| | 当事業年度 | 前事業年度 |
|---------------------|----------------|----------------|
| | 平成20年3月31日現在 | 平成19年3月31日現在 |
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | 144,564 | 171,624 |
| 固定資産 | 418,475 | 442,666 |
| 有形固定資産 | 157,269 | 158,542 |
| 無形固定資産 | 33,252 | 32,542 |
| 投資その他の資産 | 227,953 | 251,581 |
| 資産合計 | 563,040 | 614,290 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | 65,643 | 100,643 |
| 固定負債 | 78,131 | 83,963 |
| 負債合計 | 143,774 | 184,607 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | 417,749 | 413,682 |
| 資本金 | 146,200 | 146,200 |
| 資本剰余金 | 173,664 | 173,664 |
| 利益剰余金 | 113,389 | 109,322 |
| 自己株式 | △ 15,505 | △ 15,505 |
| 評価・換算差額等 | 1,516 | 16,000 |
| その他有価証券評価差額金 | 1,516 | 16,000 |
| 純資産合計 | 419,265 | 429,683 |
| 負債・純資産合計 | 563,040 | 614,290 |

損益計算書 (単位：百万円)

| | 当事業年度 | 前事業年度 |
|-----------------|-------------------------|-------------------------|
| | 平成19年4月1日から平成20年3月31日まで | 平成18年4月1日から平成19年3月31日まで |
| 売上高 | 382,971 | 377,875 |
| 売上原価 | 263,405 | 245,975 |
| 売上総利益 | 119,566 | 131,900 |
| 販売費及び一般管理費 | 97,146 | 96,606 |
| 営業利益 | 22,420 | 35,294 |
| 営業外収益 | 8,927 | 5,366 |
| 営業外費用 | 3,487 | 2,495 |
| 経常利益 | 27,861 | 38,165 |
| 特別利益 | 628 | 1,677 |
| 特別損失 | 5,060 | 462 |
| 税引前当期純利益 | 23,428 | 39,380 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 7,391 | 16,310 |
| 法人税等調整額 | 915 | △ 833 |
| 当期純利益 | 15,121 | 23,904 |

売上高(個別)の内訳 (億円)

※ () は前期比



■フジテレビグループ（平成20年3月31日現在）

| 主要な会社 | 事業内容 |
|---|------------------------------|
| 放送事業（テレビ放送事業、ラジオ放送事業） | |
| 当社 | テレビ放送 |
| (株) ニッポン放送 | ラジオ放送 |
| 放送関連事業（放送番組の企画制作・技術・中継等） | |
| (株) 共同エディット | VTR 編集等の請負 |
| (株) 共同テレビジョン | テレビ番組、CM、PR 映像等の制作 |
| (株) バスク | テレビドラマ・映画等の制作技術請負 |
| (株) 八峯テレビ | 番組制作技術 |
| (株) パンエイト | 放送番組等の企画制作 |
| (株) フジアール | 放送番組、イベント催事の実施企画制作 |
| (株) フジクリエイティブコーポレーション | 放送番組販売、番組制作等 |
| (株) フジライティング・アンド・テクノロジー | 放送舞台等の照明技術 |
| (株) ベイシス | 番組制作協力、番組およびビデオ制作 |
| FUJISANKEI COMMUNICATIONS INTERNATIONAL, INC. | 放送番組等の企画制作、フジサンケイグループの海外業務受託 |
| 通信販売事業（通信販売） | |
| (株) ディノス | 通信販売業 |
| 映像音楽事業（オーディオ・ビデオソフト等の製造販売、音楽著作権管理等） | |
| (株) シンコーミュージック・パブリッシャーズ | 音楽著作権の取得、その使用許諾 |
| (株) フジパシフィック音楽出版 | 楽譜の出版、内外国楽譜・著作権の管理、原盤の企画・制作 |
| 任意組合フジ・ミュージックパートナーズ | 音楽著作権の取得、その使用許諾 |
| (株) ボニーキャニオン | オーディオ・ビデオソフトの制作販売 |
| (株) ボニーキャニオンエンタープライズ | 録画録音用テープ・ディスクの製造販売 |
| FUJIPACIFIC MUSIC(USA), INC. | 音楽著作権の取得、その使用許諾 |
| FUJISANKEI CALIFORNIA ENTERTAINMENT, INC. | 音楽出版事業への投資等 |
| WINDSWEPT CLASSICS, INC. | 音楽出版事業への投資等 |
| その他事業（出版、広告、人材派遣、動産リース、ソフトウェア開発等） | |
| (株) クオラス | 広告代理業 |
| (株) ニッポン放送プロジェクト | リース業 |
| (株) フジサンケイ人材センター | 人材派遣業、有料職業紹介事業 |
| (株) フジミック | 情報サービス業 |
| (株) 扶桑社 | 雑誌・書籍の出版 |

■フジネットワーク 28 局

| |
|---------------------------|
| UHB 北海道文化放送(株) |
| MIT (株) 岩手めんこいテレビ(株) 仙台放送 |
| AKT 秋田テレビ(株) |
| SAY (株) さくらんぼテレビジョン |
| FTV 福島テレビ(株) |
| (株) フジテレビジョン |
| NST (株) 新潟総合テレビ |
| NBS (株) 長野放送 |
| SUT (株) テレビ静岡 |
| BBT 富山テレビ放送(株) |
| ITC 石川テレビ放送(株) |
| FTB 福井テレビジョン放送(株) |
| THK 東海テレビ放送(株) |
| KTV 関西テレビ放送(株) |
| TSK 山陰中央テレビジョン放送(株) |
| OHK 岡山放送(株) |
| TSS (株) テレビ新広島 |
| EBC (株) テレビ愛媛 |
| KSS 高知さんさんテレビ(株) |
| TNC (株) テレビ西日本 |
| STS (株) サガテレビ |
| KTN (株) テレビ長崎 |
| TKU (株) テレビ熊本 |
| TOS (株) テレビ大分 |
| UMK (株) テレビ宮崎 |
| KTS 鹿児島テレビ放送(株) |
| OTV 沖縄テレビ放送(株) |

グループ会社紹介



企業の進化には2つの大きな要素があります。

ひとつは環境の変化です。日々変化し続ける環境を正確に捉えることで、そこに生み出される新しいニーズを発見することができます。このニーズをいかに早く見出すか、それは企業が進化する上で、将来的な方向性を的確に見定めるために極めて重要なことです。

もうひとつは、いち早く発見したニーズを、いかに理解をし、咀嚼し、会社の状況に合わせて取り込んでいくかという能力です。FCCは、コンテンツの制作・営業そして管理の3部門にわたって幅広い活動を続けており、ニーズをキャッチしやすいフィールドにあるといえます。

これはまた将来の展望に大いなる可能性を秘めているということに繋がります。FCCは、全員野球の精神でこれらの課題に取り組み、時代を先取りするクリエイティブな集団として日々頑張っています。



代表取締役社長
村木 浩

Corporate Profile | 事業内容

番組制作&イベント

| | |
|-------|--|
| ドラマ | 「北の国から 2002遺言」「優しい時間」「拝啓、父上様」 |
| レギュラー | 「ライオンのごきげんよう」「パニラ気分! GOGO サタ」「びっくり法律旅行社」「全国一斉! 日本人テスト」 |
| イベント | 「お台場冒険王」「東京マラソン」「ホットファンタジー」「お台場学園」「国際千葉駅伝」「春の高校バレー」 |



「パニラ気分! GOGOサタ」収録風景



東京マラソン2008
©東京マラソン2008事務局

国内外の番組販売

- ・フジテレビ系列局を中心とした番組ソフトの国内外の販売
- ・海外向けのフォーマットセールスなど

支社代行業務

- ・(株)さくらんぼテレビジョン(SAY)高知さんさんテレビ(株)(KSS)の東京支社の代行業務

コンテンツ管理業務

- ・アーカイブセンター管理業務
- ・メタデータ管理業務
- ・フジテレビ 721・739 の拡販業務など

媒体営業

- ・屋外媒体営業
- ・保険代理業務
- ・CM・番組バンクなどの請負業務など

Corporate Data | 会社概要

| | |
|-----|---------------------------|
| 商号 | 株式会社フジクリエイティブコーポレーション |
| 所在地 | 東京都品川区東品川 3-32-42 フジテレビ別館 |
| 設立 | 昭和46年3月30日 |
| 資本金 | 4億8千万円 |
| 売上高 | 140億円(平成19年度) |
| 社員数 | 126名 |
| 支社 | 大阪 |



Corporate History | 会社沿革

- 平成 7年 (株)フジエイトと(株)フジテレビプロジェクトが合併し、番組販売と番組制作を2本軸として発足
- 平成 8年 本社を、品川区東品川・天王洲アイルのフジテレビ別館に移転
- 平成 8年 ネット系列新局の SAY・KSS の支社代行業務を開始
- 平成 14年 制作室を設ける
- 平成 14年 「TOYD」がギャラクシー大賞を受賞
- 平成 14年 「北の国から 2002遺言」を制作
- 平成 17年 FCC 創立10周年記念
- 平成 17年 「優しい時間」を制作
- 平成 18年 フジサンケイグループ経営大賞を受賞
- 平成 18年 コンテンツ事業部を新設する
- 平成 19年 大阪・堂島に関西支社を移転する
- 平成 19年 「拝啓、父上様」を制作
- 平成 19年 「第1回東京マラソン」を手掛ける

□ 会社概要(平成20年3月31日現在)

商 号 株式会社フジテレビジョン
Fuji Television Network, Inc.

設 立 昭和32年11月18日

放送開始 昭和34年3月1日

決 算 期 3月31日

資 本 金 1,462億35万円

従業員数 1,431名

事業所

本 社 〒137-8088 東京都港区台場二丁目4番8号 03-5500-8888(大代表)

湾岸スタジオ 〒137-8691 東京都江東区青海二丁目36番

送 信 所 〒105-0011 東京都港区芝公園四丁目2番8号 東京タワー内

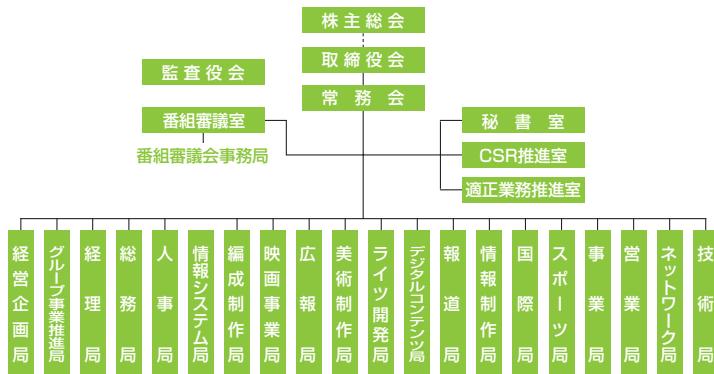
関西支社 〒530-0004 大阪市北区堂島浜一丁目4番4号アクア堂島東館 (EAST17階)

名古屋支社 〒461-0005 名古屋市東区東桜一丁目14番25号 テレビア13階

横浜支局 〒231-0005 横浜市中区本町二丁目22番地 日本生命横浜本町ビル

海外支局・事務所 ニューヨーク、ワシントン、ロサンゼルス、ロンドン、パリ、ベルリン、カイロ、モスクワ、北京、ソウル、バンコク、クアラルンプール、ローマ事務所

□ 組織図(平成20年3月31日現在)



□ 役員(平成20年6月27日現在)

代表取締役会長 日 枝 久

代表取締役社長 豊 田 皓

取締役副社長 横 井 亮 介

専務取締役 太 田 英 昭

常務取締役 嘉 納 修 治

常務取締役 小 櫃 真 佐 己

常務取締役 内 堀 眞 澄

常務取締役 飯 島 一 暢

常務取締役 堀 口 壽 一

常務取締役 瀬 田 宏

取 締 役 久 保 田 榮 一

取 締 役 小 林 豊

取 締 役 遠 藤 龍 之 介

取 締 役 鈴 木 克 明

取 締 役 松 岡 功

取 締 役 佐 藤 重 喜

取 締 役 石 黒 大 山

取 締 役 出 馬 迪 男

取 締 役 別 府 隆 文

取 締 役 清 原 武 彦

常 勤 監 査 役 尾 上 規 喜

常 勤 監 査 役 近 藤 俊 一 郎

常 勤 監 査 役 伊 藤 八 郎

監 査 役 茂 木 友 三 郎

監 査 役 南 直 哉

□ 株式の状況

| | |
|----------|------------|
| 発行可能株式総数 | 9,000,000株 |
| 発行済株式の総数 | 2,364,298株 |
| 株主数 | 75,735名 |

(注) 株式数および株主数は自己株式を含んでおります。

□ 大株主

| 株主名 | 持株数 (株) | 比率 (%) |
|---|------------|-----------|
| 東宝株式会社 | 183,221 | 7.75 |
| シービーニューヨークオービス エスアイシーアーヴィー | 87,145 | 3.69 |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口) | 84,859 | 3.59 |
| 株式会社文化放送 | 77,920 | 3.30 |
| 株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ | 77,000 | 3.26 |
| シービーニューヨークオービスファンズ | 72,746 | 3.08 |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口) | 71,449 | 3.02 |
| 関西テレビ放送株式会社 | 54,461 | 2.30 |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (退職給付信託口・株式会社電通口) | 46,500 | 1.97 |
| ゴールドマン・サックス・ インターナショナル | 44,558 | 1.88 |

(注) 上記のほか当社所有の自己株式61,202株、証券保管振替機構名義の株式164,310株があります。

・ ・ ・ ・ お知らせ ・ ・ ・ ・

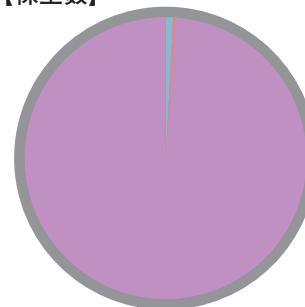
フジテレビのHP上に「IR情報」が掲載されています。最新のIRニュースや決算情報などをご覧頂けます。

フジテレビHP→
企業関連コンテンツ「IR情報」
<http://www.fujitv.co.jp/fujitv/ir/>

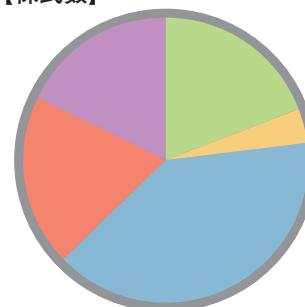


□ 所有者別株式分布状況

【株主数】



【株式数】



(注) 「国内法人」には証券保管振替機構(164,310株)が、「個人その他」には自己株式(61,202株)がそれぞれ含まれております。

| | |
|----------------------|--|
| 決 算 期 | 毎年 3 月 31 日 |
| 定 時 株 主 総 会 | 毎年 6 月 |
| 剰 余 金 の 配 当 | 決算期における株主名簿および実質株主名簿に記載または記録された株主または登録株式質権者にお支払いいたします。 |
| 中 間 配 当 | 取締役会の決議により、中間配当を実施する場合は、毎年 9 月 30 日における株主名簿および実質株主名簿に記載または記録された株主または登録株式質権者にお支払いいたします。 |
| 外国人等の株主名簿への記載・記録の制限等 | 当社は、放送法で定める外国人等（①日本の国籍を有しない人、②外国政府またはその代表者、③外国の法人または団体、④「①から③までに掲げる者」により直接に占められる議決権の割合が総務省令で定める割合以上である法人または団体）の有する議決権について、①から③までに掲げる者により直接に占められる議決権の割合とこれらの者により④に掲げる者を通じて間接に占められる議決権の割合として総務省令で定める割合とを合計した割合が議決権の 20%以上となる場合には、電波法の規定により、放送免許が取り消されることとなります。そのため、このような状態に至るときには、放送法の規定に基づき、外国人等からの株式の名義書換請求等による株主名簿（実質株主名簿を含む。）への記載・記録を拒否し、または、外国人等の議決権行使を制限することができるとされています。なお、当社は、外国人等の有する議決権数の議決権総数に占める割合が 15%以上となった場合には、放送法および放送法施行規則の規定により、6 か月ごとに公告を行います。 |
| 株式の名義書換株主名簿管理人 | 東京都中央区八重洲一丁目 2 番 1 号 みずほ信託銀行株式会社 |
| 同事務取扱場所 (お問い合わせ先) | 東京都中央区八重洲一丁目 2 番 1 号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部 〒135-8722 東京都江東区佐賀一丁目 17 番 7 号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-288-324 (フリーダイヤル) |
| 同 取 次 所 | みずほ信託銀行株式会社 全国各支店 みずほインベスターズ証券株式会社 本店および全国各支店 |
| 公 告 掲 載 紙 | 産業経済新聞 |
| お 知 ら せ | 当社は、平成 20 年 10 月 1 日付で認定放送持株会社に移行する予定です。それに伴い商号を「株式会社フジ・メディア・ホールディングス」に変更しますが、平成 21 年 1 月に「株券の電子化」が予定されていることから、従来、商号変更に伴い行われてきた旧商号株券の一斉引き換えは行いません。従いまして、現在当社株券をご所有の株主様におかれましては特段のお手続きは不要です。なお、平成 20 年 10 月 1 日の商号変更以降「株券の電子化」までの証券取引所における流通に支障はありません。 |

2008年夏。 お台場冒険王は ファイナルを迎えます。



冒険王は、「史上最高の集客、史上最大のイベント」をスローガンに掲げ2003年の夏に全社イベントとしてスタート。過去5年、延べ2,011万人を動員し、支えてくださった冒険王ファンの皆様のために、そしてお台場の未来のために、冒険王スピリットの集大成ともいえる画期的なイベントを、この夏展開します。

「君が来なくちゃ終われない！」

冒険王ファイナルにご期待ください！！



お台場冒険王ファイナル
団長 西淵憲司 (情報制作局長)

今年はファイナルにふざかしい企画をたくさん準備しています。皆様とテレビの人気者が触れ合えるフジテレビならではのステキな空間にしたいと思います。社員一同全力で取り組みますので、どうぞお楽しみに。

お台場冒険王ファイナル ～君が来なくちゃ終われない！～

日時 2008年7月19日(土)～8月31日(日) 44日間 10:00～18:00

※開催時間につきましては延長対応あり

料金 お台場冒険王 1DAY パスポート 一般 1,500円 小中学生 1,300円

●球体展望室「はちたま」・22F フォーラム・冒険ランド・めっちゃイケエリア

●各種ライブ等、別途料金が必要なイベントがございます。

●株主の皆様は右のパスポートをご提示いただきますと割引となります。

場所 フジテレビ本社屋およびお台場周辺エリア

主催 フジテレビジョン

共催 東京都港湾局 臨海副都心まちづくり協議会 東京港埠頭・テレポートセンターグループ

後援 FNS フジネットワーク各社

お台場冒険王ファイナル・インフォメーション：0570-010-000 (平日 10:00～18:00)

株主優待のお知らせ

フジテレビ・オリジナルグッズ プレゼントのご案内



株主様に「フジテレビ・オリジナルグッズ」(非売品) **1 2 3**の中から、ご希望の品物一点をお送りいたします。以下の応募要領にしたがってお申し込みください。

※品物のお届けは11月下旬の予定です。

フジテレビ・オリジナルグッズ

1 フジテレビ「オリジナル・システム手帳2009年版」

黒色と茶色の2種類ございますので、どちらかをお選びください。

「システム手帳」に「ローマ字体による名入れ」をご希望の方は、お名前をローマ字でご記入ください。

2 「アナマガ+ Premium」特製 アナウンサー「オリジナル・クオカード」(額面500円)

3 「アナマガ+ Premium」特製 アナウンサー「オリジナル・カレンダー2009年版」

※8月上旬を目途に、上記**1 2 3**のイメージ写真を弊社ホームページ(<http://www.fujitv.co.jp/fujitv/ir/>)に掲載する予定です。

※「アナマガ+ Premium」は、フジテレビアナウンサーのオリジナル動画も配信する、弊社ホームページの有料会員制マガジンです。詳しくは<http://www.fujitv.co.jp/ana/index.html>をご覧ください。

【応募要領】

- お申し込み方法⇒同封の「フジテレビ・オリジナルグッズ プレゼント申込ハガキ」にお名前(フルネーム)・フリガナ・郵便番号・ご住所・電話番号・ご希望の品物番号を記入し、必ず締め切り日までにご郵送ください。
- 締め切り⇒2008年9月1日(月)到着分をもって締め切りとさせていただきます。
※締め切り後に到着したハガキは、無効となります。ご了承ください。
- お問い合わせ先⇒フリーダイヤル **0120-357-188** 受付時間:平日(祝祭日除く) 9:30~17:30
※「申込ハガキ」にご記入いただいたお名前、ご住所等の個人情報は、品物発送以外の目的では使用いたしません。